

10 | 結菜（ゆな） / 小5 女兒・ロムアンドユーザー

メイクは私の言語——小5 女兒にとってキャンメイクは共鳴する仲間を見つける場、ロムアンドは自分を信じる起点だった

3 分ブリーフィング

【パート A：普段のメイクスタイル】

根拠：TikTok で見た韓国系くすみピンクのメイクを実践。「ただかわいいのは飽きてきた」「キラキラしてるだけは子どもっぽい」「こなれた感じにしたい」と発言。今日のテーマは「大人っぽいけどかわいい」。情報源は Instagram・TikTok で韓国系コンテンツが中心。

推論：メイクの美意識がすでに「かわいい」を超えて「こなれ感・大人っぽさ」へ移行している。トレンドの受容は受動的ではなく、自分のフィルターを通した能動的な選択として行われている。両親ともクリエイティブ職という家庭環境が審美眼の早期発達を促していると推察される。

FD：小5 女兒においても審美眼の発達段階には大きな个体差がある。結菜の場合、家庭環境が審美眼の早期発達を促しており、「かわいい」より「おしゃれ・こなれ」を志向する層が小5 段階で既に存在することが示された。

【パート B：メイクを始めたきっかけ】

根拠：4 年生時に母がリップグロスを買ってきたことが起点。母と並んでメイクを学ぶ環境が日常的に存在。「お母さんのコスメ見てるだけで楽しい」「ランコムとかかっこいい」と発言。ロムアンドはテスト 100 点のご褒美として交渉・獲得。「お母さんも韓国コスメ好きだからわかってくれた」と発言。

推論：澪と同様に母が起点だが、質が異なる。澪は「母への同一化」が動機であるのに対し、結菜は「母と対等に審美眼を共有する関係」がベースにある。テストとロムアンドを交換条件にした交渉は、欲しいものを獲得するための戦略的行動であり、自己効力感の高さを示している。

FD：高収入・クリエイティブ職家庭における母子関係は「憧れ・同一化」ではなく「共鳴・対等な審美眼の共有」として機能している。この層においてメイクは母から与えられるものではなく、自分で獲得するものとして位置づけられている。

【パート C：現使用アイシャドウについて】

根拠：「持ってるだけでカッコいい感じ」「わかってる人っぽい感じ」「知ってる子の反応が違う」「先に知ってたって感じで得意」「自分らしいものを持ちたい」「自分のフィルターはちゃんとある」「ときめくかどうかで選ぶ」と発言。キャンメイクについては「みんな持ってるからかぶりたくない」と言いながら「友達と一緒に選ぶのに合ってる」とも発言。

推論：ロムアンドの選択は単なるブランド志向ではなく「自分のセンスの表明」として機能している。キャンメイクには「実験・共有・冒険」という別の価値軸を見出しており、2 ブランドの使い分けが明確に意識されている。「ときめくかどうか」という選択基準は外部評価ではなく内部感覚に基づいている。

FD：結菜にとってロムアンドは自己表現ブランド、キャンメイクは友達との共有体験ブランドとして機能している。同一ブランドへの価値軸が滞り全く異なり、競合ではなく相補的な関係にある。

【パート D：キャンメイクについて】

根拠：「みんなの入口みたいな感じ」「間口が広い」「情報が多いから試しやすい」「友達と一緒に選ぶ時に合ってる」「ロムアンドは自分で決めて買う感じ、キャンメイクは友達と選ぶ感じ」と発言。

推論：キャンメイクを「卒業したもの・劣ったもの」として否定していない点が重要だ。間口の広さ・情報量の多さ・価格の気軽さが「友達との共有体験」を生む装置として肯定的に評価されている。ロムアンドとキャンメイクは競合ではなく、異なる文脈で共存している。

FD：審美眼の高い層においてもキャンメイクは排除されない。「自己表現ブランド」と「共有体験ブランド」という異なるポジションで複数ブランドが共存する構造が小 5 段階で既に形成されており、キャンメイクは後者として安定したポジションを持っている。

【パート E：メイクを頑張る理由・これから】

根拠：「メイクは自分の言葉みたいな感じ」「ちゃんと選べた時にこれが私だって思える」「自分のことをわかるための練習」「評価されたいんじゃなくて共鳴したい」「センスいいと思われたいんじゃなくて、センスが合う人に出会いたい」

「ロムアンドを自分で選んで買えた時に自分の感覚を信じてみようと思った」と発言。

推論：メイクの心理的機能が「承認獲得」ではなく「自己認識の深化」と「同質者との共鳴」にある。センスとは他者への優位性ではなく、同質の人間を見つけるためのアンテナとして機能している。ロムアンドの購買体験が「自分の感覚を信じる」という自己効力感の起点になっている。

FD：結菜にとってメイクは自己表現の手段である以前に、自己認識を深めるための実践的なプロセスである。「評価されたいのではなく共鳴したい」という動機構造は小5の発言とは思えない成熟度を持っており、両親のクリエイティブ職・高収入・一人っ子という環境が自己内省力の早期発達を促していると推察される。

【全体総括】

根拠：「メイクは自分の言葉」「共鳴したい」「センスが合う人に出会いたい」「自分のことをわかるための練習」というキーワードが全パートを通じて一貫している。

推論：結菜のメイクは承認欲求ではなく自己探究と同質者発見のツールとして機能している。ロムアンドは自己信頼の起点、キャンメイクは友達との共有体験の場という使い分けが自然に形成されており、2ブランドが異なる心理的機能を担っている。

FD：結菜は「メイクは自分探究の入り口」という命題を最も明確に体現するパネルである。「評価されたいのではなく共鳴したい」という動機の核心は、小5女兒のメイク動機として極めて成熟しており、家庭環境の影響が直接反映された事例として示唆に富む。

対象者プロフィール

- ・ 氏名：結菜（ゆな）
- ・ 学年・性別：小学5年生・女兒
- ・ 居住エリア：東京都世田谷区
- ・ 父職業：IT 企業管理職
- ・ 母職業：Web デザイナー
- ・ 学校種別：公立小・第1子（一人っ子）
- ・ 世帯年収：900 万円

- 小遣い：月 1,000 円
 - 使用ブランド：ロムアンド（ベターザンパレット）
 - メイク頻度・シーン：月 6 回・休日友達とショッピングモールへ行く時
 - 購入区分：テストのご褒美として親におねだりして購入
 - CANMAKE 購入意向：とても買いたい
-

発言録

パート A：普段のメイクスタイル

AI モデレーター：こんにちは！今日はメイクのこと、いろいろ教えてもらえると嬉しいな。まず自己紹介してくれる？名前と学年と、好きなこと教えて。

結菜：結菜です。小 5 です。好きなことは、友達とショッピングモール行ったり、あと Instagram とか TikTok 見たりすること。

AI モデレーター：Instagram と TikTok、よく見るんだね。どんな投稿見てるの？

結菜：メイクとか、ファッションとか。韓国系のやつが多いかな。かわいいから。

AI モデレーター：韓国系が好きなんだね。今日もメイクしてきてくれた？どんなメイクしてるか教えて。

結菜：うん。ロムアンドのアイシャドウ使って。今日はちょっとくすみピンクっぽい感じにした。

AI モデレーター：くすみピンク。それってどうやって思いついたの？

結菜：TikTok で見て。韓国の人がやってるメイクで、大人っぽいけどかわいい感じで。真似したくなって。

AI モデレーター：大人っぽいけどかわいい、か。今日のメイクのテーマってそういう感じ？

結菜：そう。なんか、かわいいだけでなくおしゃれな感じにしたい。ただかわいいのはもう飽きてきた感じがして。

AI モデレーター：ただかわいいのは飽きてきた。それってどういう意味？

結菜：なんか...キラキラしてるだけのメイクって、見てほしいって感じがするじゃないですか。なんかそれが、ちょっと違うなって。

AI モデレーター：見てほしいって感じが違う。でも結菜ちゃんも、友達にロムアンド見せてうれしかったって言ってたじゃん。それとは違うの？

結菜：...あ、そっか。なんか違うんだよな...。ロムアンドを見せたいんじゃないくて、わかってくれる人にわかってほしい感じ？全員に見せたいわけじゃなくて。

AI モデレーター：わかってくれる人にわかってほしい。それってどういう人がわかってくれる人？

結菜：センスが合う人、かな。同じものをいって思える人。そういう人と友達でいたい。

パート B：メイクを始めたきっかけ

AI モデレーター：メイク、いつ頃から始めたの？最初に何をやってみたか覚えている？

結菜：4年生くらいかな。最初はリップグロスだけ。お母さんが買ってくれて。

AI モデレーター：お母さんが買ってくれたんだね。お母さんからだったの？自分から欲しいって言ったの？

結菜：お母さんが先に、これ似合いそうって買ってきてくれた。お母さんもメイク好きだから、一緒にやろうって感じで。

AI モデレーター：お母さんと一緒にメイクするの？

結菜：たまに。お母さんがメイクしてる時に横で見て、教えてもらったりする。お母さんのコスメとかもいっぱいあって、見てるだけで楽しい。

AI モデレーター：お母さんのコスメ、見てるだけで楽しいんだね。どんなところが楽しい？

結菜：なんか、色がいっぱいあってきれいだし。お母さんが使ってるブランドって、なんかかっこいいし。ランコムとか。

AI モデレーター：ランコムか。それって結菜ちゃんも使いたいと思う？

結菜：使いたいけど、高いから無理って言われてる。だから今は自分で買えるやつで。

AI モデレーター：自分で買えるやつで、でもロムアンドはお母さんへのおねだりで買ったんだよね？

結菜：そう。テストで 100 点取ったご褒美で買ってもらった。ロムアンドって少し高いから、自分のお小遣いだけじゃ足りなくて。

AI モデレーター：テストで 100 点取ったご褒美。それってロムアンドが欲しくて頑張ったの？

結菜：...正直、ちょっとそれもある。テスト前にお母さんに「100 点取ったらロムアンド買って」って言って。

AI モデレーター：それを聞いてお母さんはなんて言ったの？

結菜：笑ってた。でも「じゃあ頑張りなさい」って。お母さんも韓国コスメ好きだから、わかってくれた感じ。

AI モデレーター：お母さんも韓国コスメ好きなんだね。お母さんとメイクの話するの？

結菜：する。どのアイシャドウがかわいいとか、この色似合う？とか。お母さんが一番わかってくれるから。

パート c：現使用アイシャドウについて

AI モデレーター：今使ってるロムアンドのアイシャドウ、なんで欲しくなったの？

結菜：TikTok で韓国の人が使ってた。色がきれいで、パレットの見た目もおしゃれで。なんか持ってるだけでカッコいい感じがして。

AI モデレーター：持ってるだけでカッコいい感じ。それってどういう意味？

結菜：なんか...ロムアンドって、ちゃんと知ってる人じゃないと知らないブランドじゃないですか。それを持ってるって、わかってる人っぽい感じがして。

AI モデレーター：わかってる人っぽい感じ、か。誰かに見せた時どうだった？

結菜：友達に見せたら、「え、ロムアンドじゃん」って言われて。知ってる子は反応が違うから、うれしかった。

AI モデレーター：知ってる子の反応が違う。知らない子の反応はどうだった？

結菜：知らない子には「なにそれ？」って感じで。そういう子には「韓国コスメだよ」って教えてあげる感じ。

AI モデレーター：教えてあげる感じ、か。それってどんな気持ち？

結菜：なんか...ちょっと得意な感じ？私が先に知ってたって感じで。

AI モデレーター：先に知ってた、が大事なんだね。他にもアイシャドウいろいろあるのに、なんでロムアンドにしたの？キャンメイクじゃなくて。

結菜：キャンメイクはみんな持ってるから。なんか、かぶりたくないというか。

AI モデレーター：かぶりたくない。みんなと同じじゃ嫌なの？

結菜：嫌ってわけじゃないけど...自分らしいものを持ちたいというか。キャンメイクはかわいいけど、みんな持ってるからちょっと違うものにしたかった。

AI モデレーター：自分らしいもの、か。ロムアンドが自分らしいって感じがするの？

結菜：なんか、自分のセンスで選んだ感じがするから。流行ってるからじゃなくて、自分が本当にいいと思って選んだって感じ。

AI モデレーター：でも TikTok で見て知ったんだよね？

結菜：...そうなんだけど。でも、TikTok で見てもかわいいと思わないやつはスルーするから。自分のフィルターはちゃんとあると思う。

AI モデレーター：自分のフィルター。それってどういうフィルター？

結菜：なんか...派手すぎないこと。くすみ系とか、大人っぽいけどかわいい系。キラキラしすぎてるのは違うって感じがする。

AI モデレーター：キラキラしすぎは違う。それって誰かに言われた？それとも自分で思う？

結菜：自分で思う。お母さんもそういう感じのメイクするから、影響あるかもしれないけど。

パートD：キャンメイクについて

AI モデレーター：さっきキャンメイクはみんな持ってるからかぶりたくないって言ってたけど、でもキャンメイク買いたいとも思ってるの？

結菜：うん。なんか矛盾してるんだけど。

AI モデレーター：矛盾してる、か。どういう矛盾？

結菜：ロムアンドは自分らしさで選んだけど、キャンメイクはキャンメイクで欲しいものがあって。別の理由で欲しい感じ。

AI モデレーター：別の理由。それってどんな理由？

結菜：キャンメイクって色の種類が多くて、ロムアンドにはない色があるから。あと値段が自分で買えるから、気軽に試せる感じがして。

AI モデレーター：気軽に試せる感じ。ロムアンドとキャンメイクって、結菜ちゃんの中で役割が違うの？

結菜：そう。ロムアンドはメインというか、これが私のって感じのやつ。キャンメイクはいろいろ試せるやつ、みたいな。

AI モデレーター：ロムアンドがメインで、キャンメイクが実験台みたいな感じ？

結菜：実験台はちょっと違うけど...なんか、キャンメイクって失敗してもいい感じがするというか。気軽に冒険できる感じ。

AI モデレーター：失敗してもいい、気軽に冒険できる。それってキャンメイクのどこからくる感じ？

結菜：値段もあるけど、なんか...キャンメイクって、みんなが使ってるから情報が多いじゃないですか。YouTube とかで使い方とか色の合わせ方とかいっぱい出てくるから、試しやすい。

AI モデレーター：情報が多いから試しやすい。キャンメイクってそういうブランドなんだね。結菜ちゃん的にキャンメイクってどんなイメージ？

結菜：なんか...みんなの入口、みたいな。メイク始める人が最初に使うブランドって感じ。悪い意味じゃなくて、間口が広い感じ。

AI モデレーター：みんなの入口。自分はもうそこは卒業した感じ？

結菜：卒業は言いすぎかな。でも...メインではないかな。サブで使いたい感じ。

AI モデレーター：サブで使いたい。キャンメイクをサブで使うって、具体的にどんな時に使いたいと思う？

結菜：新しい色試したい時とか、友達と一緒にドラッグストア行って一緒に選ぶ時とか。なんかキャンメイクって、そういう楽しみ方が合ってる気がする。

AI モデレーター：友達と一緒に選ぶ時に合ってる。それってどういう意味？

結菜：ロムアンドって自分で決めて買う感じだけど、キャンメイクって友達と「これかわいくない？」「こっちの方がよくない？」って言いながら選ぶ感じが楽しそうで。

パートE：メイクを頑張る理由・これから

AI モデレーター：結菜ちゃんって、なんでメイク頑張ってると思う？自分的にはどういう気持ちでやってる？

結菜：なんか、自分を表現できる感じがするから、かな。服とかもそうだけど、メイクって一番直接的に自分が出る感じがして。

AI モデレーター：一番直接的に自分が出る。それってどういう意味？

結菜：服って、ブランドとか値段とかもあるじゃないですか。でもメイクって、同じものを使っても仕上がりが違うから。自分のセンスがそのまま出る感じがして。

AI モデレーター：自分のセンスがそのまま出る。それって怖くない？

結菜：怖い時もある。センスないって思われたら嫌だから。でもそれより、自分らしくいたい気持ちの方が強い。

AI モデレーター：自分らしくいたい気持ちの方が強い。これからやってみたいメイクってある？

結菜：眉毛を整えたい。眉毛って顔の印象すごく変わるって聞いて。あとリップをもうちょっとちゃんとしたやつにしたい。

AI モデレーター：眉毛とリップか。なんでその2つ？

結菜：眉毛って、整えてる人と整えてない人って全然違うじゃないですか。なんか、ちゃんとしてる感じが出る。リップはもうちょっと色を楽しみたくて。ヌーディーなやつとか。

AI モデレーター：ヌーディーなリップ。それもナチュラルだけどちゃんとしてる感じ、と同じ方向だね。最後に聞かせて。結菜ちゃんにとって、メイクって何？

結菜：...メイクって、自分の言葉みたいな感じ。

AI モデレーター：自分の言葉。それってどういう意味？

結菜：言葉って、ちゃんと選ばないと自分の気持ちが伝わらないじゃないですか。メイクも同じで、ちゃんと選ばないと自分らしくならない。で、ちゃんと選べた時に、あ、これが私だって思える。

AI モデレーター：これが私だって思える。その感覚、最近いつ感じた？

結菜：今日のメイクがわりとそういう感じで。鏡見た時に、あ、いいなって思った。

AI モデレーター：今日の自分がいいなって思えた。それって大事なことだね。今日はいろいろ教えてくれてありがとう。最後に、他に話したいことあったら何でも。

結菜：えっと...なんか、メイクって大人になってからするものって思ってる人もいると思うけど、私は今からやっというてよかったと思ってて。自分のことをわかるための練習になってる気がするから。